



## ○ 県教委特別支援教育課主催「交流及び共同学習研究協議会」開催！



1/31(木)に「交流及び共同学習研究協議会」が、本校を会場にして開催され、県下各地の高等学校、特別支援学校、市町教育委員会等から 84 名の参加がありました。

本県では、平成 19 年度から特別支援学校と高等学校との交流及び共同学習を実施しており、平成 30 年度は、特別支援学校と高等学校それぞれ 16 校を指定しています。本校では、平成 27 年度から県立神戸聴覚特別支援学校と取り組んでおり、当日の研究協議会は、本校と神戸聴覚特別支援学校から、授業参観や実践発表をもとに、研究協議等を行いました。

【日程】 10:00～ 開会 (図書室)

10:15～10:30 生徒発表(図書室)

「交流及び共同学習の活動の様子について」

①県立神戸聴覚特別支援学校 代表生徒、 ②本校 代表生徒4名

10:45～12:30 授業参観

3限 (104、105、106、107 教室)

両校の生徒が 4 班に分れて、内容、役割分担等を考え手話劇を練習した。

4限 (図書室) 手話劇の発表(赤ずきん、ももたろう、大きなかぶ、白雪姫)

13:30～14:00 実践発表 (図書室)

①「共に学び合える社会を目指して」

県立神戸聴覚特別支援学校 清田 美奈代 教諭

②「交流及び共同学習の取り組み」

県立神戸高塚高等学校 日野 裕子 教諭

14:00～15:45 研究協議 (図書室)

「心のバリアフリー」の実現をめざした交流及び共同学習について」

15:45～16:00 指導助言 (図書室)

兵庫教育大学大学院 石橋由紀子准教授

「段階を踏まえて、ほどよい枠組みと自由度があり、目標に発表する場を設定されていた。コミュニケーションを活動の中心におき、ねらいがブレずに複数回の活動が積み重ねられていたすばらしい取り組みだった。」

16:00～16:15 閉会(図書室)

### 【参加者感想】

- ・生徒主体で考えた手話劇は温かくて味わいがありそれぞれの良さがでていた。生徒が輝いていた。
- ・自然にコミュニケーションがとれていて驚いた。手話ができることが全てではなく、重要なのは伝えよう、聞こうとする「気持ち」だということがよくわかりました。
- ・生徒の自主性を尊重する先生方の姿に、「待つ」ことの大切さを再認識しました。
- ・心のバリアフリーの解消に向けて神戸高塚高校でどのような広がりが見られているのか聞きたかった。